

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら松本白板教室

保護者等数(児童数)30 回収数 10 割合 33.3%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	3	1	1	中に入ってゆっくり見たことがないので。	規定の2倍のスペースを確保しております。施設見学時に分かりやすいよう説明させていただきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7	2		1		職員は規定以上の配置をしています。作業療法士、保育士、音楽療法士ほか在籍しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3		1	中に入ってゆっくり見たことがないので。	室内はバリアフリー化になっており、必要箇所には手すりも設置されています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	1	4	事業所では少ないと思うが、地域での交流があるので心配ない。あまり他の子供達との交流があった話を聞いてない。	施設内での支援スケジュールで時間いっぱいになってしまうため交流機会が中々作れないです。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	8	2			自宅に送り時にその日の様子を教えてくれる人とそうでない人がいる。	送迎スタッフが支援に携わってない場合がありお話が出来ない場合もありますが、利用時の様子は連絡帳で行っておりますのでご確認くださいませと幸いです。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	2			トラブルなどがあれば相談させてもらってる。	必要に応じて随時相談をさせていただいてます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	4	3	2	保護者同士の連携は全くないが、特に必要だとは思わない。あまり他の方々との交流が少ないように思う。	保護者様も日々忙しいと思われる中、要望もありませんので行っておりません。保護者様からの依頼でチラシやイベントの案内
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			4		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1		1	毎月発行されている広報で様子が確認できています。そのほかLINEを活用してリアルタイムでの情報共有を行っています。あまり無いように思う。	活動の様子をお便りで毎月配布しています。そのほかLINEを活用してリアルタイムでの情報共有を行っています。
	14 個人情報に十分注意しているか	9	1				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	2		3	あまりそういった話を聞かないように思う。	利用契約時に説明させていただいていますが「分からない」とのご意見も多数ありますので分かりやすいよう説明いたします。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1		3	よく分かりません。	年に2回、火災と地震を想定しての避難訓練を行っています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	10				言葉で伝えられない子だが、帰宅後の様子で分かる、ニコニコして落ち着いているように思う。	
	18 事業所の支援に満足しているか	8	2			男性職員がいなくなってドッチボール等が出来なくなった。沢山助けて頂いて感謝です。子供に適正な支援を考案してくれて有難い。	

126 27 5 20

71%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら松本白板教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○		配置については規定の倍の配置をしています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内はバリアフリー化されています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		月1度の全体ミーティングを開催しています。全スタッフが参加出来るように工夫していますが、参加できないスタッフについては後日内容の共有を行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートの回収率が低い状況ですので保護者様にご協力いただけるよう工夫して行きたいと思っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		教室のホームページにて好評しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は現在行っておりません。今後の状況を踏まえ検討していきます。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		本部社内研修他、外部研修動画(作業療法士会など)を活用しています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		ガイドラインに沿った様式を使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		発達状況を踏まえながら適時工夫しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日や長期休みは外出する機会が多いので出かける時も目的を設定して支援に結び付けようとしています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動が必要なお子さんにつきましては必要に応じて別室にて5分~10分程の個別支援を行っています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		基本的に午前と午後に打ち合わせを行っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		児発管を中心に支援の振り返りを行い改善点があれば改善している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		利用毎に利用者さん別の活動記録を残しスタッフ間で共有しています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		下校時間の急な変更などは学校から連絡を頂くようになっています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケア児の受け入れはありません。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		ご理解を頂いている保育園では情報共有させて頂いていますが、療育に対しての保育園側の理解や認識不足を感じる点があります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		殆どの利用者さんは中学進学タイミングで利用を終了するため障がい福祉サービス事業所との連携まで至っていません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			松本市療育ネットワーク会議に定期的に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			保護者様とは随時情報共有をしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		現在ペアレント・トレーニングは行っていませんが、希望があれば検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用契約時に説明させていただいています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			児童発達支援管理責任者が相談に応じています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者様が忙しい事と、要望がないため行っていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月お便りの配布とグループラインでの情報発信を行っています。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		大々的な行事を行う事は無いので今のところは行っていませんが施設見学など常に開かれた状態にしています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			保護者様アンケートで分からないとの意見が見受けられるのでより分かりやすく説明していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年2回火災と地震を想定した避難くれんを行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			現在身体拘束が必要になる利用者様は居りません。身体拘束に関する研修を行い支援員に周知しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			